

# 国内ツアー

## 被災地の人びととつながる旅

出会い、学び、参加する  
石巻市北上町 復興支援ツアー

東日本大震災は東北の各地に巨大な爪痕を残しました。震災から3年目の2013年。少しずつ復興の道を歩んでいますが、被災者の多くはいまも仮設住宅で暮らし、震災前から過疎化、高齢化に苦しむ農漁村の中には復興の道筋が見えない地域も多く、日々さまざまな問題に悩んでいます。例えば、地域のコミュニティ全体で高台移転することができない中で村の連帯をどう残していくか、という課題などです。他方、多くの都市住民がボランティア、支援者として被災地に赴き、被災者のおおらかさ、忍耐強さに励まされてきました。このツアーでは、パルシックが支援してきた北上町の復興の現状を知ると同時に、地域の人々の知恵や文化を学び、自然にふれ、漁村の地域資源とその魅力を再発見します。

■ 2013年6月～12月 ■ 全7回/定員30名 ■ 受講料：52,000円

※旅の回は交通費、宿泊費、食費などが別途かかります。  
※各回の単発受講も可能です。(座学は1回2,500円、旅の回についてはお問い合わせください。)  
※このツアーは特別オープン講座につき、入会金は不要です。

■ 6/1 (土) 13:00～15:00

### コミュニティ復興支援でのパルシックの仕事

井上礼子 (パルシック代表理事)

石巻市北上町は、人口わずか2,100名の漁業を中心とした集落ですが、東日本大震災で204名の死者、94名の行方不明者を出しました。不自由な仮設住宅での生活で、悲しみを胸に、漁業を開始し、農作業をおこなう被災者たちに励まされながら、パルシックが行ってきた活動をお話します。



■ 7/6 (土)～7 (日) 1泊2日 出会いの旅

### 被災した漁村のいま

— 十三浜での被災体験と復興に向けて

北上町十三浜は漁業が盛んな地域ですが、3.11の津波で大切な家族、家や作業場、漁具の一切を失いました。漁業再開へ向けての歩みといま直面している課題について、漁師との交流や高台移転予定地の訪問を通して学び、浜料理など地域の魅力を堪能します。



■ 8/1 (木) 19:00～21:00

### 「復興」

— 東日本大震災の全体像と復興の現状はどうなっているのか

室崎益輝 (兵庫県立大学 特任教授/神戸大学 名誉教授)

巨大災害は、その社会の持っていた歪みを顕在化させる。復興は、その歪みを改革する使命を持つ。本講義はそうした視点から、東日本大震災の本質と復興のあり方を考察する。



※ 14「現代社会を知るための10のキーワード」クラスと合同

■ 9/14 (土)～15 (日) 1泊2日 参加する旅

### 北上の農家生活を体験し、地元の幸を味わう

北上は海・山・川の幸の宝庫。津波をかぶった大地は、再び野菜や花を育み始めました。「自分の家で食べる野菜は自分で作る」という農家の心意気と、震災後の歩みについて北上のお母さんたちから伺います。「にっこり仮設農園」では農園スタッフの作業を手伝い、郷土料理と一緒に作って交流します。そして宿泊先の追分温泉で一日の疲れを癒しましょう。

# 海外ツアー

## 国際協力の現場を訪れる パルシック・ツアー

パルシック (PARC Interpeoples' Cooperation) は、PARCの姉妹団体です。国境を越えて、人と人が協力する「国際協力」活動を行なっています。  
※詳細はp.56をご覧ください。



■ 8月3日～11日

東ティモール アイナロ県

### フェアトレードコーヒー生産者を訪ねる旅

2002年の東ティモール独立時からパルシックが生産支援を行なっている、アイナロ県マウベシ郡のコーヒー農家を訪ねます。実際にコーヒー豆の収穫、加工を手伝い、コーヒー農家のお宅に泊まり、農民と直接触れ合いながら、私たちが飲んでいるコーヒーができるまでをたっぷり知ることのできる、貴重な機会です。フェアトレードのコーヒーができるまでを、一緒に見に行きませんか？



■ 8月18日～25日

スリランカ ジャフナ県・ムライティブ県

### 内戦後：北部帰還漁民を訪ねる旅

2009年、26年間におよぶ内戦の終結を迎えたスリランカ。戦場となった北部州の多くの地域は、少数民族のタミル人が暮らしていた地域で、現在、避難を余儀なくされていた人びとの暮らしの再建が進んでいます。戦前にはスリランカ第2の都市として栄えたジャフナと、戦争末期まで戦場となったムライティブを訪ね、復興に取り組む漁村の人びとと触れ合い、スリランカの戦後復興について考える旅です。



■ 9月1日～7日

マレーシア ペナン州

### 漁民とともにマングローブを植える旅

多様な生き方と豊かな環境が共存できる新しい世界都市ペナン。リゾート地として有名ですが、急速な沿岸の開発や排水による水質汚染が進んでおり、環境保全の重要性が高まっています。地域の人びとと協働してマングローブ植林や河川の汚染監視など、環境保全活動に取り組んでいる小規模漁民グループを訪ね、ペナンの沿岸でマングローブ植林を共に行います。宿泊は、漁村のホームステイ。



■ 12月26日～2014年1月2日

スリランカ マータラ県

### 美味しい紅茶の故郷を訪ねる旅

「セイロンティー」として世界に親しまれる紅茶の産地スリランカで、紅茶の有機栽培に取り組む小規模農家のグループを訪ねます。独特の甘い香りが特徴の「ルフナ紅茶」の産地デニヤヤ。世界遺産にも登録されるシンハラージャ熱帯雨林のすぐ隣で、堆肥を自ら作り、茶葉を有機で栽培している農民たちがいます。美味しい有機栽培紅茶ができるまでの行程、そこで暮らす人々の生活に触れる旅です。



#### 国内ツアー

お申込み・お問い合わせ

アジア太平洋資料センター (PARC) <http://www.parc-jp.org>  
〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-7-11 東洋ビル3F  
Tel.03-5209-3455 Fax.03-5209-3453 E-mail.office@parc-jp.org

#### 海外ツアー

お申込み・お問い合わせ

特定非営利活動法人パルシック (PARCIC)  
〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-7-11 東洋ビル  
Tel.03-3253-8990 Fax.03-6206-8906 E-mail.office@parcic.org